

## 行事予定

- 〔菊舎顕彰会総会〕 新型コロナの影響を鑑み、会場開催は中止します。五月初旬に理事他に資料・書面表決書を送付します。
- 〔菊舎顕彰俳句大会〕 十月十七日(日) 田耕促進センター(予定) 詳細は後日お知らせいたします。
- 〔菊舎展〕 令和四年一月十五日(土)～二月二十七日(日)(予定) 豊北歴史民俗資料館(太翔館) 主催:下関市教育委員会

\*その他の行事は未定です。何かあればまたお知らせいたします。ホームページ「菊舎顕彰会」の情報等も参照ください。

## お知らせ

会員の中村 佑さんが菊舎物語後編『きめたの音』を上梓されました。本代は無料ですが、発送用スマートレター代百八十円が必要です。予約を受付しますので、百円切手と九十円切手を各一枚同封して左記住所まで。二冊希望の場合、二百八十円切手と百円切手夫々一枚ずつ。その他の冊数は電話等で確認ください。発送は五月十四日です。



〒七五〇一〇三二四 下関市菊川町上田部三四二一 中村 佑 宛  
電話:〇九〇一三六三〇一四一七〇

お願い:少額の切手を送られる場合、スマートレターに交換の際に切手一枚毎に五円の手数料が掛かることを考慮ください。

## 近況報告

台湾 張 方禹(チョウ ホウウ)

日本の会員の皆様こんにちは。台湾のピビアンです。この度私は台湾大学日本語文学科の修士課程を修了しました。二年半の研究で、沢山の史料(主に女性たちの旅日記)を読みました。江戸時代の女性たちは想像よりもはるかに自由な生活をおくっていました。私は彼女たちの勇敢さを心から尊敬しています。この研究のおかげで私も日記を書き始めました。二百年後、私の日記を誰かが研究してくれたらと思います。

修士論文を書き終え、今後の私にはどのような未来が待っているのでしょうか。今年は二月十一日～十六日が台湾の旧暦のお正月です。コロナの影響で海外旅行も国内旅行もダメですから、家族と会食したり、家でのんびりドラマや映画を見たりするつもりです。お正月が終わったらいよいよ就職活動です。もちろん、女性たちに関する研究も続けていきます。どんな未来が待っているのか、私は期待しています。

コロナが収束したら、ぜひ日本に行きたいです。そして皆さんとお会いできる日を楽しみにしています。

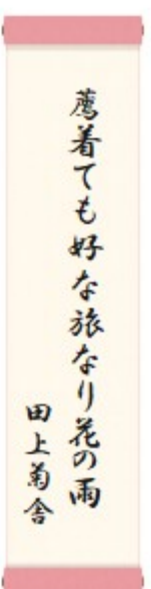
## 【編集後記】

未だ収束の様子を見せぬ新型コロナウイルスですが、会員の皆様には元氣でお過ごしのことと思います。来年度も多くの行事の中止が予想されますが、何か他の形で皆様との交流を図りたいと考えております。そして台湾のピビアンとも早く菊舎の里で会えることを願っています。(清)



第21号  
令和3年3月  
発行  
菊舎顕彰会

〒759-5512  
下関市豊北町田耕  
電話083-783-0734  
FAX 083-783-0734  
e-mail  
info@kikusha.com



## 「菊舎を「縁」として」

会長 磯部 多恵子

日頃より会員の皆様におかれましては、本会の活動に際し、「ご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。昨年はコロナ感染拡大防止のために活動が思うようにできませんでした。

しかし、毎年開催している菊舎顕彰俳句大会は、結果の発送という形になりましたが、無事に終えることが出来ました。皆様から大人の部三二二句、学生の部六四三句と、前年同様の「ご投句をいただきありがとうございます。結果を次ページに掲載しておりますのでご覧ください。来年度の行事につきましては未だ収束の様子を見せないコロナ禍のため未定ですが、菊舎を学生の方たちに知っていただくために『菊舎読本』を制作し、学校関係に配布したいと計画しております。

このような活動が今できますのも、岡前会長の長年に渡る活動の賜物とっております。昨年の十一月には、「芸術・文化・スポーツ功労」の部門で岡 昌子氏が県選奨を受賞され、その功績が内外に認められたことは、私たちにとりましても大きな喜びです。

最後になりましたが、来年度も菊舎を「縁」として文化活動に微力ながら精進して参る所存でございます。今後ともお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

## 「人生は邂逅、そして」

一字庵十一世 岡 昌子

菊舎の年齢を一つの目標としてきた私が、なんとこの二月二日に喜寿を迎えた。様々な病を経験しながら、「ここまで生かされてきたことに感慨も深い。

私の座右の銘は、亀井勝一郎の「人生は邂逅」であったが、続いての「開眼し、瞑目す」の言葉も心に響くようになった。私の人生は、菊舎に出会い、その「縁」で巡り合った多くの人から物事を教わり、たくさんのお恩恵を被ってきた。あとは瞑目まで、磯部会長の後押しをしながら「田上菊舎」を讀え続けたいと思う。

磯部会長と私は、菊舎の生誕地に嫁いできた者同士ではあったが、出身地や現在の自治会も違い、長い間接点はなかった。しかし、互いに俳句に出会ったことをきっかけに、今では切っても切れぬ仲となっている。それに年齢の差こそあれ、誕生日は同じ二月二日。この「時世だから、祝杯も挙げずソーシャルディスタンスを保ち、「おめでとー」の声を掛け合った。常に会員さんへの感謝を口にされる磯部会長と、その夫君のご尽力には頭が下がるばかりだ。



令和元年度菊舎顕彰会収支決算書

平成31年4月1日～令和2年3月31日

単位：円

項目	予算額	決算額	増減	備考
前年度繰越	13,197	13,197	0	
会費	500,000	563,000	63,000	293人・563口
事業収入	50,000	106,440	56,440	菊舎慕情・図録 他
貯金利息	3	3	0	
助成金	20,000	20,000	0	田耕振興協議会 20,000円
雑収入	2,800	31,000	28,200	寄付・祝儀
合計	586,000	733,640	147,640	

項目	予算額	決算額	増減	備考
会議費	20,000	15,664	▲4,336	理事会
事業費	370,000	442,726	72,726	一日研修(令和元年11月10日) 他
研修費	20,000	22,870	2,870	研修下見
研究費	30,000	21,856	▲8,144	研究資料収納具 他
事務通信費	120,000	172,556	52,556	通信費・印刷・事務用品
交際費	20,000	27,765	7,765	香典 他
雑費	6,000	3,000	▲3,000	文化協会会費 他
次年度繰越		27,203	27,203	
合計	586,000	733,640	147,640	

令和2年度の主な事業

- 4月5日 会計監査・常任理事会(妙久寺)
- 4月28日 菊舎顕彰会総会(中止のため理事他に資料・書面表決書を送付し議決を得る)
- 6月22日 「菊舎便り」発行
- 8月10日 理事会(田耕促進センター)
- 10月18日 菊舎顕彰俳句大会(会場開催中止、紙上にて発表)
- 10月22日・30日 俳句授業(豊北小学校)
- 1月13日 新春俳句相撲大会(豊北小学校)
- 1月18日 下関市庁舎の展示コーナーに菊舎史料展示(市庁舎4階)
- 2月11日 「しものせきゆかりの先人展」に参加、史料展示(大丸下関店7階)
- 3月 会報発行



菊舎史料展示コーナー  
下関市庁舎四階食堂横  
一月十六日(約半年間)

豊北小学校  
新春俳句相撲大会



令和二年度菊舎顕彰俳句大会の入賞作品をお知らせいたします。(抜粋)

一字庵賞

大人の部 ふたりして叩く庭や野菊晴  
学生の部 ハエを追う母とネコの目一体化

山口市 片山いつ子  
豊北小五年 白尾紗也

山口県知事賞

まだ肩に御座す昨日の秋神輿

下関市 古川裕三

下関市長賞

天 五分だけ面会叶ふ花野風  
地 河原菊ほどけば戻る風の癖  
人 渚まで雲と歩みて菊舎の忌

下関市 吉村ひとみ  
周南市 木村たけま  
下関市 三浦宣子

下関市教育長賞

小学生の部 炎天下パスをつないでいくゴール  
中学生の部 泥多きシューズに少し残る夏  
高校生の部 翡翠や蒼き鏡に飛び込みて

文関小五年 星山叶羽  
豊北中三年 坂本龍之介  
下関北高三年 植村溜斗

田耕地区振興協議会長賞

菊 磯菊の風をまともに船だまり  
雑 片仮名の新語に溺れそうな夏

美祿市 野原洋子  
下関市 和田幸子

豊北観光協会会長賞

大人の部 余生てふ俳句の硯洗ひけり  
学生の部 せみのこえはくをよんでる木のてっぺん

宇部市 為近正子  
小串小一年 濱村心

カモンFM賞

水軍の裔の島なり濃紺菊

山口市 芳西兌子

ホテル西長門リゾート賞

コロナ禍に子等の帰らぬ盆となり

美祿市 野尻敏子

一字庵賞の片山さんに俳句大会の感想をいただきました。

「野菊のつばやき」 山口市 片山いつ子

実は十数年ほど前、ご当地で開催された俳句大会に参加したことがありました。その時の講師は寺井谷子先生でした。颯爽とした女流俳人の雰囲気にはふらふらとロビーまでついて行った記憶があります。残念なことに講演の内容は全く覚えていません。それより参加者への温かいもてなしに気分よく帰路についていたことを思い出します。

このたび望外の賞を頂き、喜びと共に豊北町田耕の地との縁を感じました。

「ふたりして叩く庭や野菊晴」は、路傍に咲いていた野菊のつばやきを拾ったというか、言わば野菊に助けてもらったようなものです。紫色の可憐な花がかすかに香ってくれました。岡昌子先生に共感して頂いたことを何よりの励みに精進を重ねたいと思います。

終りに顕彰会の益々の発展と皆様のご健勝をお祈りいたします。

